

メディア・リテラシー

参加
無料

オンライン連続講座

第①回 2025年12.19(金) 18:30～20:30

メディアと人権 ～フェイクニュースを読む～

私たちは日々、SNSやYoutubeなどのネットメディアを長時間利用しています。情報を集めるのに使ったり、おもしろゴシップ記事をつい読んでしまったり。これって本当？フェイク？と戸惑うこともあります。もはやメディアなしの生活はできません。

この講座では、ネットの情報と接する際に注意すべきポイントを紹介しつつ、メディアとどんな風につきあっているか、よいのかを一緒に話しあって考えます。



登丸あすかさん

文京学院大学・教員。

「メディアリテラシー」「ジェンダー論」などを担当し、「メディアとジェンダー」「メディアと子ども」などをテーマに地域の市民講座などでもワークショップを実施。関西出身で、2000年代より豊中で毎年メディア・リテラシー講座を担当。



田島知之さん

京都府立大学・教員。

「メディア・リテラシー論」「現代メディア論」などの講義を担当するほか、各地の市民講座、教員講習を担当。NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所理事。著書に『最新Study Guideメディア・リテラシー【入門編】』（共著、鈴木みどり編、リベルタ出版）など。

第②回 2026年1.9(金) 18:30～20:30



田口ローレンス吉孝さん

沖縄大学・地域研究所・特別研究員。

専門は社会学・国際社会学。著書

『「混血」と「日本人」ーハーフ・ダブル・ミックスの社会史』（青土社、2018年）、『「ハーフ」ってなんだろう？ あなたと考えたいイメージと現実』（平凡社、2021年）。「ハーフ」や海外ルーツの人々の情報共有サイト「HAFU TALK」を共同運営。

メディアにおける差別とデマ ～外国にルーツをもつ人々の経験から考える～

皆さんが日々接しているメディア（新聞、テレビ、SNS、広告など）において、「日本人に合う味」「日本人の髪質（黒髪ストレート）に合ったシャンプー」などのように、単一的な「日本人像」が作られていることに気づいたことはありますか？

この講座では、いわゆる「ハーフ」や「ミックス」と呼ばれる人々、そして外国にルーツをもつ人々が「いないもの」として扱われてしまうようなメディアの現実や、かれらにたいする差別となるデマやフェイクニュースなどの問題とそれらの影響について学びます。

そのうえで、デマや差別をメディア上で見聞きしたときに自分にできること、今すぐに実践できる小さな一歩について一緒に考えていきます。

各回定員：①50名②80名(要申込・先着順) 形式：オンラインのみ

※アーカイブ配信はありません。本講座は、参加者同士の意見交換を行うため、

お顔を出して（カメラをオンにして）のご参加をお願いしております。

受講の際はカメラ機能付きのデバイスをご用意ください。

申込：右記の二次元コードを読み取ってお申し込みください→

※12月4日（木）10時より受付開始。どちらかみの参加も可能です。



お問合せ

公益財団法人
とよなか国際交流協会

所在地：豊中市玉井町1-1-1-601エトレ豊中6階

電話：06-6843-4343 E-mail：atoms@a.zaq.jp

受付対応時間：9:00～17:30

休館：水曜日・年末年始（12/29～1/3）

【主催】(公財)とよなか国際交流協会

